

令和 7 年度

新しい地方経済・生活環境創成交付金（デジタル実装型 TYPES）

群馬県「欠席連絡（感染症情報）のデータ連携事業・事業運営業務」

欠席連絡（感染症情報）のデータ連携事業 広報資料（学校向け）

令和 8 年 3 月



そもそも感染症システムとは？ -感染症システムによりこどもを守る-

- ✓ 感染症システムは、リアルタイムな感染症情報の共有を通じて、こどもたちを守るための迅速かつ的確な判断・行動を可能にします。

感染症の流行を早期探知

- ✓ 地域の流行状況をリアルタイムで把握
- ✓ 急増時にアラート表示で注意喚起

事務作業の省力化

- ✓ 臨時休業報告等の届け出書類を電子化

感染症システム



迅速・的確に判断して
こどもたちを守る



担任等



養護教諭

スムーズな情報共有

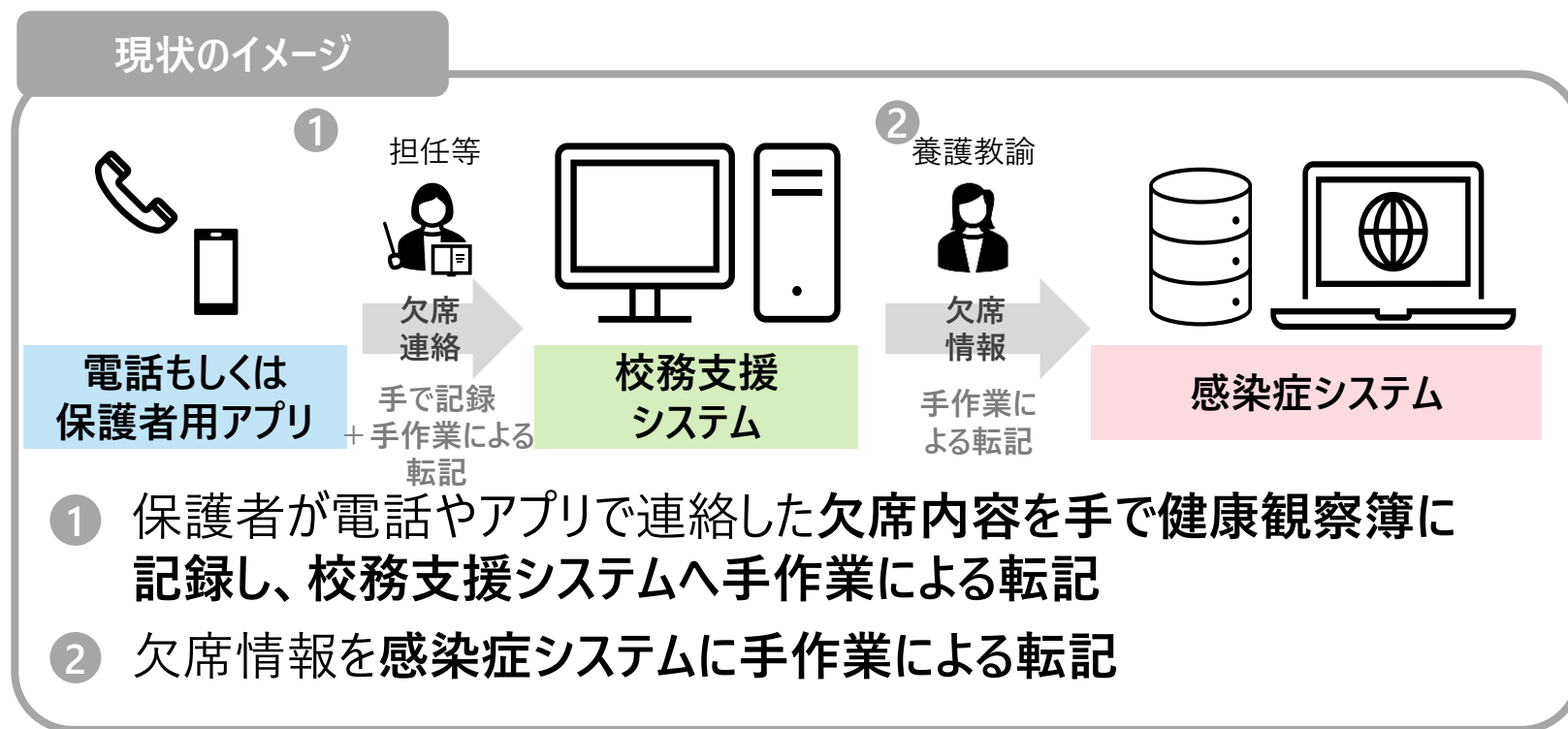
- ✓ 養護教諭等アラートメールが届く
- ✓ 行政機関への情報共有をすることで地域全体でこどもを守る

データを施設内で有効活用

- ✓ グラフ等の出力をし保健だより等に活用
- ✓ 好みの条件で罹患率グラフを出力

手作業による転記 -現在の欠席連絡・感染症報告の流れ-

- ✓ 現在多くの学校では欠席連絡の受付から感染症システムへの入力まで、複数の手作業による転記が発生しています。
- ✓ 保護者連絡アプリの導入状況により流れは異なりますが、校務支援システム・感染症システムへの入力はいずれも手作業による転記で行われています。



校務支援システム、
感染症システム
いずれへの入力も
**すべて手作業に
よる転記で
対応**

お悩みではありませんか？ -日々の欠席連絡・報告業務-

- ✓ 担任等や養護教諭の皆様は、欠席連絡の把握・転記作業に多くの時間を費やしており、大きな負担となっています。

- 保護者からの欠席連絡を都度集計
- 欠席理由の確認に保護者への電話連絡等を実施
- 欠席理由を精査のうえ、校務支援システムに手作業による転記



担任等

- 集計情報を感染症システムへ毎日手作業による転記
- 出席停止等を教育委員会へ報告



養護教諭

その悩み、解決します - 欠席連絡の"自動連携"で、負担軽減と感染症対策の強化を両立-

- ✓ 負担軽減のために、保護者連絡アプリからの欠席連絡を校務支援システムへ自動連携します。
- ✓ また、校務支援システムから欠席情報を「感染症システム」へ自動で連携します。
- ✓ 担任等・養護教諭の手作業による転記業務を概ね"ゼロ"にし、リアルタイムでの情報共有を実現します。

システム連携のイメージ



- ① 保護者がアプリで連絡した欠席内容を校務支援システムへ自動連携
- ② 校務支援システムから感染症システムに自動連携

担任等・養護教諭の手作業による転記業務が概ね"ゼロ"

欠席情報入力に係る

**手作業による
転記の
負担軽減**

+

感染症システムの
利用促進による、

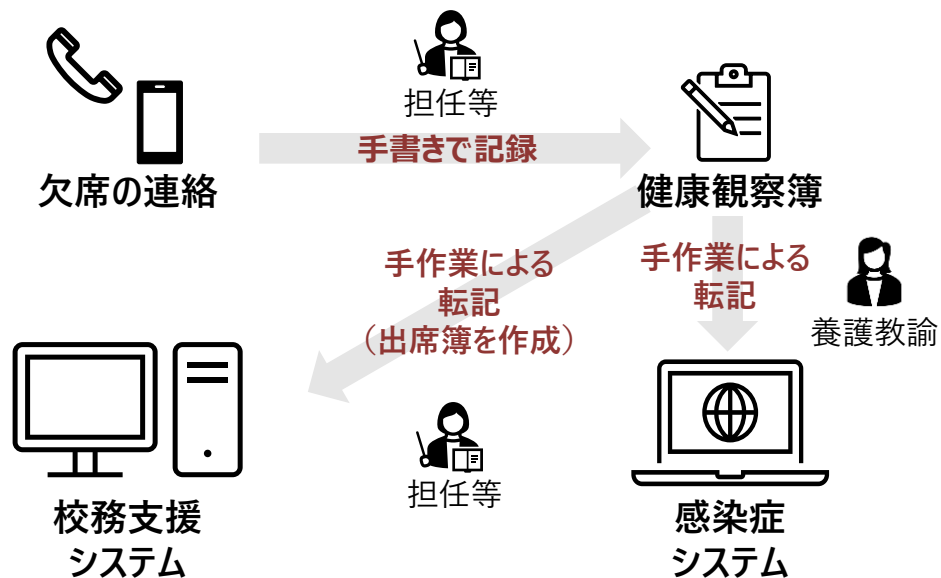
**早期の
感染症対策**
を目指します

どう変わる？ -毎日の手作業による転記作業が概ね"ゼロ"に-

- ✓ これまで毎日行っていた手作業による転記業務が、本事業のデータ連携により自動化されます。
- ✓ 創出された時間で、担任等はより専門性の高い、こどもと向き合う時間に集中できるようになります。

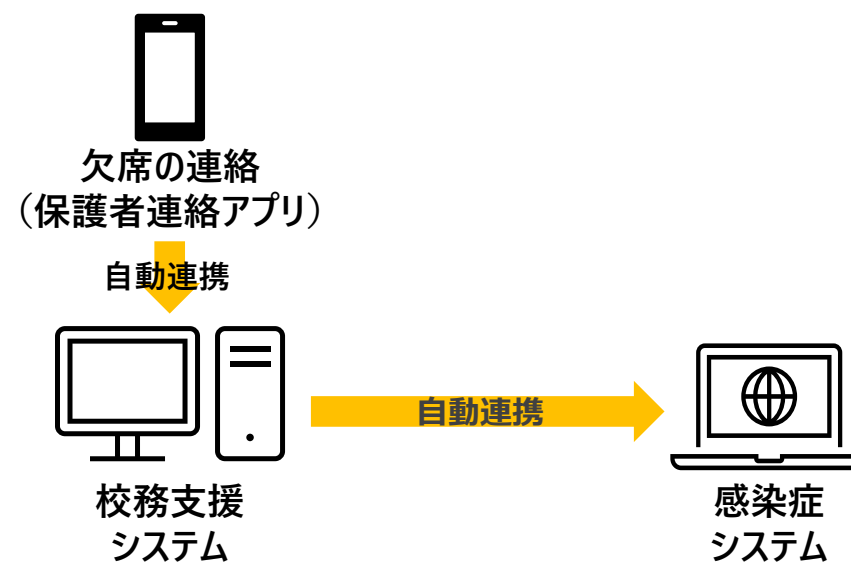
これまで

健康観察簿を**毎日、手書き**
感染症システムへ**毎日、手作業による転記が必要**



これから

データの自動連携により
手作業による転記が概ね不要



※上記は一例です。実際の変更内容は各校の運用状況により異なります。

効果あり！ -県内8校での実証で、業務時間の削減を確認-

- ✓ 実際に、実証事業に参加した学校では、欠席連絡に係る業務において最大で100%の業務時間を削減しました。

欠席連絡に係る 1 日の業務時間の変化※

	自動連携前		自動連携後	
欠席連絡の受付	30分	➡	10分	削減率66%
健康観察簿の記入	10分	➡	1分	削減率90%
出席簿の作成	30分	➡	0分	削減率100%
感染症システムの入力	15分	➡	5分	削減率66%

※実証事業参加校のうち、各業務について、時間削減が最大に見られた学校の業務時間となっています。

「欠席連絡の受付」⇒A小学校（児童・生徒75名、教職員24名）

「健康観察簿の記入」⇒B小学校（児童・生徒148名、教職員26名）

「出席簿の作成」⇒A小学校（児童・生徒75名、教職員24名）、C小学校（児童・生徒450名、教職員63名）、

D小学校（児童・生徒82名、教職員16名）、E小学校、（児童・生徒55名、教職員20名）

「感染症システムの入力」⇒A小学校（児童・生徒75名、教職員24名）、D小学校（児童・生徒82名、教職員16名）

こんな声も！ -担任等・養護教諭からは好感触の声-

- ✓ 担任等からは「出席簿作成の負担が軽減した」、「児童・生徒対応や授業準備に注力できるようになった」という声が、養護教諭からは「感染症システム入力以外の業務に注力できるようになった」という声が上がりました。

出席簿作成の負担が軽減された

- ✓ 保護者連絡から出席簿への反映が短時間でできるようになった。
- ✓ 欠席状況が出席簿に自動で入力されるようになり、助かっている。



担任等

児童対応・授業準備等に注力できる

- ✓ 健康観察の手間が省けたことで、朝のホームルームに時間をかけられるようになった。
- ✓ 月末の事務処理の時間を教材研究等に充てられるようになった。



養護教諭

他の業務に時間が充てられる

- ✓ ほけん便り等他の業務に時間を割けるようになった。
- ✓ 保健室対応の時間が確保できるようになった。
- ✓ 朝の児童管理の時間が確保できるようになった。